

令和7年度
静岡県実証実験サポート事業
「CO-LAB Shizuoka」

< 募集案内 >

令和7年8月
静岡県

1 事業概要

スタートアップの成長支援と地域課題の解決を図るため、静岡県内をフィールドに実証実験を実施するスタートアップを全国から募集し、採択されたスタートアップに対して、実証フィールドの提供や実証実験の実施に係るアドバイスなどの各種支援、実証実験に係る費用の補助を行います。

2 募集内容

(1) 募集プロジェクト

以下のテーマに対して地域パートナー（※）が設定した課題について、課題解決に取り組むスタートアップを募集します。（課題はP7以降を御確認ください。）

<テーマ一覧>

- ①観光・商業活性化
- ②インフラ・防災・まちづくり
- ③行政課題
- ④農林水産・食
- ⑤モノづくり活性化
- ⑥ヘルスケア・ウェルネス
- ⑦脱炭素・ESG

※地域パートナー：地域課題解決のために、スタートアップと共に実証実験に取り組む地域の団体

最新の参加地域パートナーについては、専用サイトから御確認ください。

<https://shizuoka.eiicon.net/co-lab-shizuoka2025/>

(2) 応募資格

- ・中小企業者(中小企業基本法(昭和38年法律第154号)第2条に規定する中小企業者)で、法人を設立してから概ね10年以内であること（事業者所在地は問いません）

※ 中小企業の定義は、以下のサイトを参考にしてください。

中小企業庁「FAQ「中小企業の定義について」

https://www.chusho.meti.go.jp/faq/faq/faq01_teigi.html

- ・具体的なサービス・プロダクト（MVP）やアイデアがあり、地域の課題解決に向けて主体的にプロジェクト推進を行えること。

- ・都道府県税を完納していること。
- ・次の①～⑤のいずれにも該当しない者であること。
 - ①個人（個人事業者を除く）、提案内容を自らが実施できない事業者、静岡県、地域パートナー等が連携を行うにふさわしくないと判断した事業者等
 - ②暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号。以下「法」という。）第2条第2号に該当する団体（以下「暴力団」という。）
 - ③暴力団員等（暴力団員（暴力団対策法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。）又は暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者をいう。以下同じ。）
 - ④暴力団員等と密接な関係を有する者
 - ⑤暴力団員等又は暴力団員等と密接な関係を有する者がその事業活動を支配するもの

3 実証実験の実施期間

採択決定から令和8年2月末日まで

4 支援内容

（1）各種支援

採択したプロジェクトについて、以下の支援が可能です。

- ① 地域パートナーが保有する施設等の実証実験フィールドの斡旋
- ② 実証実験の実施計画や実施方法に関するアドバイス
- ③ 法制度に関するアドバイス
- ④ 地域パートナーが保有するネットワークへの接続
- ⑤ 実証事業のPR支援

※ その他、相談に応じます。

（2）経費支援

採択したプロジェクトについて、以下の経費を最大200万円（補助率1/2）補助します。（採択後、別途申請が必要です。）

- ① 設備備品費（実証事業の実施に必要な設備備品（取得価格10万円以上）をレンタルする場合に要する経費）

- ② 消耗品費（実証事業の実施に必要な物品（取得価格 10 万円未満）の製作および購入に要する経費）
- ③ 謝金（実証事業の実施に必要な活動を行うため、協力者等に支払う謝金等）
- ④ 外注費、保守費、改造修理費（実証事業の実施に必要な開発設計に伴う経費、データの分析に必要な経費等）
- ⑤ 通信運搬費（実証事業の実施に必要な物品の運搬費やデータ通信費等）
- ⑥ 広報活動費（実証事業の実施に必要な広告宣伝費等）
- ⑦ 交通費（実証事業の実施に必要な国内の交通費等）
- ⑧ 賃借料（実証事業の実施に必要な施設、土地及び実証事業の実施に必要な物品（取得価格 10 万円未満）をレンタルする場合に要する経費等）

5 応募から審査までの流れ

（１）応募

参加希望の方は、エントリーシート（Microsoft Power Point 等のプレゼンテーション作成アプリケーションで作成した資料を PDF に変換し圧縮したもの）を、専用サイトの応募フォームより提出してください。

- ※ 1 応募書類は、日本語のみ受け付けます。
- ※ 2 エントリーシートには個人情報に記載しないでください。御応募いただいた課題の提案元の地域パートナーに限らず、関連する地域パートナーに共有させていただきます。
- ※ 3 応募フォーム「<https://forms.gle/VTU4MdBmrKaAiJFH6>」より登録いただいた個人情報は、応募書類に係る応募者への問い合わせ、審査結果の通知、相談会等の出欠確認、その他本事業に係る各種イベントに係る案内及び出欠確認等のために、使用いたします。
- ※ 4 応募フォームより申し込みいただいた方の個人情報は、応募書類に関する問い合わせ、審査に関する問い合わせ、採択後の伴走支援時の情報共有を目的に、地域パートナーへ提供いたします。申し込みいただいた個人情報に関しては静岡県「個人情報保護制度について」に則り取り扱います。
静岡県「個人情報保護制度について」
<https://www.pref.shizuoka.jp/kensei/gyoseikaikaku/kojin.johohogoo/1002312/1011646.html>
- ※ 5 採択されたプロジェクトの情報や実証実験時の写真・動画等について、

事務局及び地域パートナーが広報活動に利用させていただく場合があります。御承諾いただける方のみ、御応募をお願いします。

※6 静岡県は、本事業の応募受付に係る業務を、株式会社 eiicon に委託しています。

(2) 審査

① 書類審査

書類審査は提出いただいたエントリーシートを基に行います。審査の実施にあたり、事務局より個別に内容の確認を行う場合があります。選考基準(予定)は下記の通りです。

- (1) ソリューション：技術・アイデアの斬新さ、事業化の可能性、
社会的インパクトの大きさ
- (2) 地域親和性：地域課題・ニーズへの合致度
- (3) 静岡県へのコミット：将来性（静岡県内での事業の拡大可能性等）
- (4) 計画性：実証スケジュールや補助金の使途の妥当性

② プレゼン審査

書類審査を通過したプロジェクトを対象に、外部有識者等で構成する審査会による選考会を行います。選考は主にプロジェクトのプレゼンテーション及びそれに対する質疑応答で行います。

審査書類、審査基準等のプレゼン審査の詳細については、書面審査通過者へ別途お知らせする予定です。

(3) スケジュール

○募集期間

令和7年8月8日（金）から9月12日（金）まで

<詳細>

・説明会：8月19日（火）

・事前相談受付期間：8月8日（金）から8月26日（火）

※ 事前相談受付期間にエントリーシートの提出があったプロジェクトについては、提出者が希望する場合、事務局より随時（提出から1週間程度を目処）、フィードバックを行います。

- ・ 最終応募締切：9月12日（金）

※フィードバックを踏まえ、事前相談受付期間に提出したエントリーシートを修正・再提出することも可能です。

○審査期間

書類審査 9月中旬～下旬

プレゼン審査 11月中旬

<詳細>

- ・ 書類審査結果通知：10月1日（水）目処

- ・ プレゼン審査に向けた調整・準備期間：10月上旬～11月上旬

※ 地域パートナーとの実証計画調整、実証計画のブラッシュアップ 等

- ・ プレゼンテーション審査会：11月中旬

- ・ 採択結果通知：11月末日処

※ スケジュールは随時メール等により通知いたします。

○実証実験期間

採択決定（補助金の交付決定日）から令和8年2月末日まで

6 その他

（1）採択後に準備が必要な書類

採択者は、採択結果通知後、静岡県に対して補助金の交付申請をしていただきます。交付申請時に、以下の書類も提出していただきますので、速やかに提出いただけますよう、御準備をお願いします。補助金の交付申請等の詳細については、「実証実験サポート事業補助金交付要綱」を御参照ください。

- ・ 決算書又は確定申告書（直近2期分）
- ・ 法人登記簿謄本（3か月以内に取得したもの）
- ・ 都道府県税の納税証明書（本社が所在する都道府県の税証明発行窓口で「全ての税目で未納額がないことが分かる」証明書を取得してください。）

（2）採択時の情報発信に関する協力依頼

採択者は、実証実験についてメディアから取材があった場合等に、本実証実

験が「静岡県実証実験サポート事業」の支援を受けて実施している旨、発信していただきます。

また、プロジェクトの成果について、成果発表会での発表やホームページ等での公開に御協力いただきます。

7 問合せ窓口

- ・ 静岡県実証実験サポート事業 CO-LAB Shizuoka 運営事務局
(運営受託者 株式会社 eiicon 担当：上原、小川)
- ・ メール：co-lab-shizuoka@eiicon.net
- ・ 専用サイト
<https://shizuoka.eiicon.net/co-lab-shizuoka2025/>

<課題一覧>※課題に対する対象エリアは追加となる場合があります。

① 観光・商業活性化

No	対象エリア	課題
1	熱海市エリア	平日・閑散期への需要の平準化 (ビジネス/会議/研修シーンでの利用創出)
2		夜の賑わいの創出による地域産業の活性化
3		花火大会開催時等の駐車場対策
4		宿泊業の人手不足に対する雇用対策
5		中小企業の魅力発信と承継支援
6		空き店舗活用による商業地域の活性化
7	伊東市エリア	地域資源のブランド力向上
8		中心市街地活性化のプレイヤー
9		市内での回遊性向上
10		商店街を中心とする空き店舗の利活用
11		中小企業の IT 化・DX 化、創業・承継支援による企業維持、物価高騰対策
12		観光による交流人口の増加、観光資源の魅力発信
13	賀茂地域エリア	増加するインバウンドのさらなる誘致と受け入れ態勢の構築
14		観光業の深刻な人手不足の解消
15	湖西市エリア	駅前活性化、エリアとしての魅力向上
16	静岡市エリア	清水港に寄港するクルーズ船への地元魅力発信
17		体験型・滞在型の観光コンテンツの開発
18		中心市街地の空洞化対策に向けた空き店舗の活用（チャレンジショップ・リノベーション）
19		地域の学生の地元エリアでの就業促進
20	島田市エリア	島田市の中心市街地の活性化
21		中心市街地に空き店舗等の活用
22	裾野市エリア	観光と自然資源の活用促進（富士山麓の自然を活かしたレジャー拠点の来訪者（年間約 130 万人）が周遊・滞在したくなるような仕組みの創出）
23		観光と駅周辺のにぎわい創出（計画中の道の駅や整備中の駅周辺拠点を活かした市全域のにぎわい創出）

24		観光による交流人口の増加（2030 年度までに 300 万人達成！）
25	裾野市エリア	観光情報に関するデジタル対応や多言語対応（増加傾向の訪日観光客対応やウーブン・シティのオフィシャルローンチを控えグローバル水準に！）
26	富士市エリア	世界で唯一、日本一高い山と、日本一深い駿河湾などの地域資源を活用した観光コンテンツの創出
27		地域の観光資源を活用した滞在型の観光コンテンツの創出
28	藤枝市エリア	中心市街地の空洞化対策に向けた空き店舗の活用（チャレンジショップ・リノベーション）
29	三島市エリア	インバウンド向けの三島域内の回遊促進
30		観光地としての歴史的、文化的魅力発信による、認知度向上

② インフラ・防災・まちづくり

No	対象エリア	課題
1	伊東市エリア	駅周辺の賑わい創出
2		後継者・人手不足による廃業防止
3		商業地の集客と空き店舗対策
4		災害に強いまちづくりの推進
5		移住・定住促進
6		JR 伊東駅周辺の賑わい創出
7	賀茂地域エリア	少子高齢化に伴う空き家、空き店舗の増加とその活用
8		2 次交通の減少に伴う、地域の利便性、周遊性の低下の解消
9	静岡市エリア	若者へのリノベ住宅の提供や民泊事業の促進
10	裾野市エリア	公共交通の産業化（ライドシェア、AI オンデマンド、交通結節点の再編、新しい交通システム検討）
11		道路・河川等のインフラや公共施設の維持管理と活用
12		市街地における空き店舗や未利用地の活用
13		進行中の駅周辺の基盤整備（裾野駅(令和 12 年度完成予定)、岩波駅(令和 14 年度完成予定)) を活かした賑わいの創出
14	浜松市エリア	市内道路の慢性的な渋滞の緩和、解消
15		災害時における通信網のダウンによる情報通信ネットワークの途絶

16	袋井市エリア	山間地域における高精度土砂災害情報の把握
17		画像（映像）解析や音波（電波）によるリアルタイム漏水検知システムの検証
18	藤枝市エリア	交通事業者と連携した新たな交通システムの創出
19		若者へのリノベ住宅の提供や民泊事業の促進
20	三島市エリア	増加する空き家、空き店舗の活用による市街地、地域の活性化

③ 行政課題

No	対象エリア	課題
1	伊東市エリア	問合せ対応の効率化
2		窓口改革と職員意識改革
3	湖西市エリア	市有地の売却プロセスのシステム化
4		市民のデジタルデバイドの解消とスマホ操作教室の充実
5	裾野市エリア	地域の事業者やスタートアップとの効果的な連携・協業を実現するためのマッチング手法や関係構築のノウハウ不足
6		地域の産業経済を担う「挑戦する人材」の育成基盤の整備（アントレプレナーシップ教育の導入等）
7		行政サービスの市民満足度の効果的な収集と測定
8	袋井市エリア	AI チャットボット等を活用した電話相談の負荷軽減に向けた検証
9		センサー技術等を活用した効率的な野良猫の去勢不妊施策の検証

④ 農林水産・食

No	対象エリア	課題
1	伊東市エリア	農林水産業従事者の人手（担い手）不足
2	掛川市エリア	お茶の新用途開発（食品、化粧品、健康素材等）
3		茶殻や食品副産物の再資源化（堆肥、バイオマス燃料、飼料）
4		フードテック促進による、食料不足や食料ロスの課題解決
5	静岡市エリア	地元食材の6次産業化などによる農産物のブランド化・販路拡大
6	島田市エリア	お茶の新用途開発（食品、化粧品、健康素材等）
7		茶殻や食品副産物の再資源化（堆肥、バイオマス燃料、飼料）

8	島田市エリア	フードテック促進による、食料不足や食料ロスの課題解決
9	裾野市エリア	農業の担い手不足の解消
10		小規模農家の業務負担軽減につながるスマート農業の促進
11		分散した圃場のスマートな管理
12		荒廃農地(19.76ha)や遊休農地の(7.27ha)の利活用
13		特産品のブランド化と認知向上や販路拡大
14	沼津市エリア	市内に点在する農業用水門のIoT化による、効率的な灌漑 用水管理の実現
15	袋井市エリア	生産性の高い農業の実現
16		センサー等を用いた水生生物(ミドリガメ等)特定外来生 物の効率的駆除方法の確立
17		お茶の新用途開発(食品、化粧品、健康素材等)
18		茶殻や食品副産物の再資源化(堆肥、バイオマス燃料、飼料)
19		フードテック促進による、食料不足や食料ロスの課題解決
20	富士市エリア	富士市産のお茶やヒノキなどの地域ブランドの販路拡大
21		農業等の一次産業で働く人材の確保
22		農業等の業務負担軽減につながるスマート農業の促進
23		地域ブランドの認知拡大
24	藤枝市エリア	地元食材の6次産業化などによる農産物のブランド化・ 販路拡大
25		お茶の新用途開発(食品、化粧品、健康素材等)
26		茶殻や食品副産物の再資源化(堆肥、バイオマス燃料、飼料)
27		フードテック促進による、食料不足や食料ロスの課題解決
28	三島市エリア	特産品のブランド化と認知向上
29		農林水産業の担い手不足を踏まえた省力化、省人化

⑤ モノづくり活性化

No	対象エリア	課題
1	伊東市エリア	海外販路やDXによる展開支援
2		中小企業のDX化(業務改善、新分野進出)
3		販路開拓支援
4	掛川市エリア	茶関連製品(粉末茶、加工食品等)の高付加価値化
5		食品廃棄物から素材・資源を抽出する「アップサイクル技 術」等の連携促進

6	掛川市エリア	地域製造業とスタートアップの技術連携支援（AI、IoT、3D 技術 等）
7	湖西市エリア	少子高齢化による人手不足
8		デジタル導入、DX、AI の活用
9	静岡市エリア	人手不足の解消・技術継承を促進する DX 化の推進
10		地域企業のオープンイノベーションの促進
11		後継者不足を解消する事業承継を促進する取り組み
12	島田市エリア	地域企業で働く人材の確保
13		地域の中小製造業の後継者不足の解消
14		地域企業の DX の推進
15		地域の中小企業の新たな事業や製品の開発促進
16		茶関連製品（粉末茶、加工食品 等）の高付加価値化
17		食品廃棄物から素材・資源を抽出する「アップサイクル技術」等の連携促進
18		地域製造業とスタートアップの技術連携支援（AI、IoT、3D 技術 等）
19	裾野市エリア	中小企業の DX と効率化に向けた支援
20		地元企業・事業所と求職者の接点の構築
21	浜松市エリア	中小製造業の生産性向上に向けた DX 推進支援
22		技術ならびに事業継承や人材不足問題の解消
23		異業種連携による新たな技術・製品開発の促進
24	袋井市エリア	茶関連製品（粉末茶、加工食品 等）の高付加価値化
25		食品廃棄物から素材・資源を抽出する「アップサイクル技術」等の連携促進
26		地域製造業とスタートアップの技術連携支援（AI、IoT、3D 技術 等）
27	富士市エリア	石油由来素材の代替としての紙等を原料とした新素材 CNF（セルロースナノファイバー）の活用
28		製造業におけるスムーズな技術承継の実現
29		地域の製造業の業務負担軽減につながる DX の推進
30	藤枝市エリア	人手不足の解消・技術継承を促進する DX 化の推進
31		地域企業のオープンイノベーションの促進
32		後継者不足を解消する事業承継を促進する取り組み
33		地域企業の人材確保を容易する取り組み

34	藤枝市エリア	茶関連製品（粉末茶、加工食品 等）の高付加価値化
35		食品廃棄物から素材・資源を抽出する「アップサイクル技術」等の連携促進
36		地域製造業とスタートアップの技術連携支援（AI、IoT、3D 技術 等）
37	三島市エリア	中小企業の DX 化と生産性向上
38		中小企業の事業承継問題の解決
39		人材採用、人材育成の効率化

⑥ ヘルスケア・ウェルネス

No	対象エリア	課題
1	伊東市エリア	温泉、自然の活用による従来の観光の高付加価値化
2	湖西市エリア	市民の歯の健康への意識向上
3	静岡市エリア	離職防止につながる働き方や職場環境の改善
4		子育て・教育などのライフステージ支援
5		地域資源を活かしたウェルネス観光（お茶、温泉、「山・海・川」など自然・食・癒しの資源活用不足）
6	裾野市エリア	後期高齢者の増加による、医療・介護サービスへの負担拡大
7		医療機関の老朽化と存続の支援
8		ウェルビーイングの指標活用
9	藤枝市エリア	離職防止につながる働き方や職場環境の改善
10		子育て・教育などのライフステージ支援
11		ボランティアや市民活動、探究学習等の推進

⑦ 脱炭素・ESG

No	対象エリア	課題
1	伊東市エリア	中小企業のカーボン対応と企業成長支援
2	掛川市エリア	茶殻や食品廃棄物のバイオマス化・堆肥化
3		地域企業のカーボンクレジット創出・環境認証取得支援
4		ESG 経営に向けたコンサルティングサポートの提供
5	湖西市エリア	市内中小企業の脱炭素化支援
6		ごみ処理時の資源活用、埋め立て時のカルシウム抑制
7		脱炭素化に向けた市民、一般家庭の意識向上

8	静岡市エリア	省エネ・CN・ESG 経営を促進するデジタルを活用した取り組み
9		脱炭素化を実現する再生可能エネルギーの促進
10	島田市エリア	茶殻や食品廃棄物のバイオマス化・堆肥化
11		地域企業のカーボンクレジット創出・環境認証取得支援
12		ESG 経営に向けたコンサルティングサポートの提供
13	裾野市エリア	地域における利便性や環境負荷の低い公共交通の創出（ライドシェア、AI オンデマンド等の新しい交通システム）
14	浜松市エリア	地域におけるカーボンニュートラル推進に関する新たな施策
15		脱炭素資源循環システム（脱化石燃料、リサイクル促進、エネルギーの地産地消など）の構築
16		再生可能エネルギーの導入促進と地域内でのエネルギー循環モデル構築
17		企業の脱炭素経営への移行
18		ESG 要素を取り入れた地域活性化事業の推進
19		環境負荷低減に資する新技術・サービスの導入
20		茶殻や食品廃棄物のバイオマス化・堆肥化
21	袋井市エリア	地域企業のカーボンクレジット創出・環境認証取得支援
22		ESG 経営に向けたコンサルティングサポートの提供
23	藤枝市エリア	省エネ・CN・ESG 経営を促進するデジタルを活用した取り組み
24		脱炭素化を実現する再生可能エネルギーの促進
25		茶殻や食品廃棄物のバイオマス化・堆肥化
26		地域企業のカーボンクレジット創出・環境認証取得支援
27		ESG 経営に向けたコンサルティングサポートの提供
28	三島市エリア	地域企業の脱炭素対応と持続可能な成長支援
29		三島市域内における温室効果ガス排出量の見える化と削減の機運醸成